

## 弘前だんぶり池（青森県）

認定事業者名：ひろさき環境パートナーシップ21

### 活動を行うようになったきっかけ

2001年3月に策定された「弘前市環境基本計画」の素案作成に携わった検討委員会のメンバーが、「計画を絵に描いた餅に終わらず、自分たちが創った計画は、自分たちで推進して行こう」と決意し、まず、2002年2月に市民・事業者主体の自立的な任意組織「ひろさき環境パートナーシップ21（HEP21）」を設立しました。HEP21は、同年3月弘前市との間で「環境パートナーシップ協定」を締結し、以後、市民・事業者・行政のパートナーシップにより、計画に謳われた「自然環境の復元」を具体化するため、「弘前だんぶり池」（だんぶり：津軽弁でトンボのこと）づくりを始めました。貴重なトンボ等が残っていた休耕田を弘前市が買い上げ、協定を締結しているHEP21の市民・事業者が中心となってボランティアで池のデザインや整備活動等を行い、2003年10月には開所式を開催しています。

HEP21では整備活動当初から、「弘前だんぶり池」の環境教育・環境学習の場としての活用を考えており、2003年度から小中学生等の受け入れを開始しています。

2017年9月には、青森県より「体験の機会の場」の認定を受けました。



### 活動として行っていること

「弘前だんぶり池」は面積約5,500㎡で、10枚の休耕田を活用し、低水温湿原、暖水池、水路、湿原等を組み合わせた多様な生物が生息する空間となっており、青森県の絶滅危惧種であるハラビロトンボやハッチョウトンボをはじめ、これまで43種のトンボが確認されたほか、池周辺も里山としての自然がたくさん残っています。

この「弘前だんぶり池」において、小学生から一般市民までを対象とした、自然環境を再生する活動（自然再生活動）や、生物多様性保全等の大切さを実感していただくため、生物観察会などの自然体験活動を行っています。

## 参加者の安全確保について

「弘前だんぶり池」自然再生活動や自然体験活動における安全管理マニュアルに基づき、参加者の安全確保を行っています。プログラム実施前には、事前に場内点検・補修等を行うほか、参加者にもその都度、安全注意喚起を行っています。

## 体験の機会の場への参加の状況について

2018年度は、小学生から一般市民まで、自然再生活動には169名、自然体験活動には258名の、合計427名の方が参加しました。

2018年度に実施した県の「親子で楽しく学ぶ体験型環境教育プランモデル事業」の委託事業である、「弘前だんぶり池」観察会&動植物クローズアップ撮影会には親子31名が参加しました。

### 〔参加した方の声〕

- 初めて参加しましたが、普段見ることのできない生き物をたくさん見ることができて、貴重な体験ができました。
- 楽しかったです。特に写真が上手に撮れて、とても嬉しかったです。たくさんの生き物に触ったり、名前がわかったり、おもしろい発見がたくさんありました。
- 去年も参加させていただきましたが、より多くの生物を発見して観察することができ、とても楽しく有意義な時間を過ごすことができました。来年もぜひ参加したいです。



## 地域や国、世代を超えた交流について

2018年度に実施した県委託事業である、「弘前だんぶり池」観察会&動植物クローズアップ撮影会では、小学生までの親子が参加対象でしたが、地元企業のキャノンプレジジョン（株）社員も参加し、デジタルカメラや小型プリンターの提供を受けたほか、弘前大学フィールドサイエンス研究会の大学生もスタッフで参加し、連携・協働して実施する中で、世代を超える交流がありました。

## 環境教育としての効果について

「弘前だんぶり池」では、まちなかでは見られなくなった生物がたくさん生息しており、子どもたちは生物観察会で水生生物等采取する中で、自然環境再生の大切さや生物多様性保全の大切さ等を実感することができます。教科書だけの学びと違い、ここでの学びは、やがて大人になっても忘れられない体験となって残ることと思います。

## 終わりに

「弘前だんぶり池」は、市街地から5kmほど離れた里山地域にあり、サワガニやカジカなどが生息する赤沢・大畑沢という二本の清流に囲まれた休耕田です。だんぶり池づくりにあたっては、動植物を持ち込まない、持ち出さないを原則とし、自然の力による環境の復元をめざして、現存する生物への影響を最小限とするため、機械力に頼らず人力で池の掘削や木道の整備等を進めました。また、10枚の田んぼは、それぞれ水深や形態を変化させた池とし、生物多様性の確保に努めました。

その結果、だんぶり池では、トンボのほかにも、メダカやトウホクサンショウウオ、ゲンジボタルやヘイケボタルなども見られるほか、ドジョウやカエル類もたくさん生息するため、カワセミ等の鳥類も見ることができるなど、無移植にもかかわらず、多様な生物が生息する空間となっております。ぜひ、お越しいただければと思います。

## 所在地・申込み方法

**所在地** 青森県弘前市大字坂元字赤沢1番地

**申込方法** 自然再生活動（だんぶり池づくり）については、「弘前だんぶり池カレンダー」を毎年発行し、だんぶり池における作業活動日を周知していますので、その日であればいつでもどなたでも参加可能です。カレンダーについては、弘前市のホームページをご覧ください。HEP21事務局へお問い合わせ願います。

自然体験活動（だんぶり池観察会等）については随時、受付しております（基本的に4月旬～11月初旬）ので、HEP21事務局へお問い合わせ願います。

弘前市 HP :

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/jouhou/keikaku/partner21/partner21.html>

HEP21事務局（白戸）：電話 0172-34-7834

メールアドレス [qyhop627@ybb.ne.jp](mailto:qyhop627@ybb.ne.jp)